

2018年3月卒業予定者 ~Voice~



福塚 千愛 さん

Fukuzuka Chiaki

経済学部
経済学科 4年

和歌山県立
向陽高等学校出身

【内定先】
国土交通省 中国地方整備局

高校では文系でしたが、数学が得意だったこともあり経済学部を受験することになりました。地元を離れて国公立の大学で一人暮らしをしたいという気持ちが強かったため、大学入試センター試験の結果により下関市立大学の中期試験を受験しました。入学後、2年次に将来の就職先について具体的に考えるようになり、漠然とですが公務員になりたいと思い、学内で開講されている公務員講座を受講しました。最初の1年は大まかに授業を受けましたが、3年次からは本格的に公務員試験の勉強に取り組みました。中でも私は民間企業と併用して就職活動を行ったのでとても大変でした。しかし、民間企業の対策はゼミやキャリアの先生が親身になって指導してくれた甲斐もあり内定をいただくことができました。その後、希望する公務員でも内定をいただくことができました。

下関市立大学は、様々な地域から来ている学生が多いのですがすぐに親しくなれます。また、多様な学生がいるので互いに切磋琢磨できる友人にも出会えることができます。学生数も他大学に比べて少ないので、キャリア教育も一人ひとりに対し丁寧に指導してくれます。努力次第でどこでも成長することができる下関市立大学に入学でき、とても良かったと実感しています。



千谷 樹希斗 さん

Chiya Yukito

経済学部
国際商学科 4年

鳥取県立
倉吉西高等学校出身

【内定先】
株式会社モルテン

高校の時に世の中の動きが勉強できる経済学部に進学したいと思っていました。しかし、将来どのような仕事をしたいかについてはイメージができず、大学4年間の中でやりたいことを確立できればいいと考えていました。下関市立大学を選んだのは担任の先生に勧められたからです。経済学を学べるのであればどの大学でも同じなのではないかとも思っていたのですが、下関市立大学は教育面以外での支援も厚く、今はこの大学を選んで本当に良かったと思います。

私は大学に来て初めて一人暮らしを経験しました。母校からの男性は自分一人で完全にアウェイ感しかありません。だからこそ必死に周りに話しかけ、友だちの輪を広げました。この感覚は、周りのみんなも同じだったようで、友達づくりに一生懸命でした。比較的小規模な大学だからこそ、みんなが顔見知りで、友達の間がどんどん広がりました。

私は小さいころからサッカーやテニスなど多くのスポーツを経験していたため、大学生活を過ごす中で将来はスポーツに関わる仕事がしたいと強く思うようになりました。就職活動では頻りにキャリアセンターを利用し、希望したスポーツメーカーから内定をいただきました。大学で培った人との輪を大事に、社会に出て人との輪を広げ成長したいと思っています。

内定先速報(2018年3月卒業予定者)

2017年10月31日現在

(株)日本政策金融公庫、(株)商工組合中央金庫、(株)ゆうちょ銀行、(株)りそなホールディングス、(株)SMBC信託銀行、中国労働金庫、四国労働金庫、(株)阿波銀行、(株)伊予銀行、(株)大分銀行、(株)沖縄銀行、(株)紀陽銀行、(株)山陰合同銀行、(株)滋賀銀行、(株)十八銀行、(株)親和銀行、(株)中国銀行、(株)鳥取銀行、(株)西日本シティ銀行、(株)広島銀行、(株)福岡銀行、(株)北陸銀行、(株)宮崎銀行、(株)山口フィナンシャルグループ、(株)愛媛銀行、(株)香川銀行、(株)西京銀行、(株)トマト銀行、西中国信用金庫、東山口信用金庫、広島信用金庫、福岡ひびき信用金庫、山口県信用保証協会、大和証券(株)、野村證券(株)、みずほ証券(株)、三菱UFJモルガン・スタンレー証券(株)、SMBC日興証券(株)、American Family Life Assurance Company of Columbus(Aflac)、(株)かんぽ生命保険、第一生命保険(株)、日本生命保険相互会社、損害保険ジャパン日本興亜(株)、東京海上日動火災保険(株)、三井住友海上火災保険(株)、因幡電機産業(株)、大西商事(株)、黒田電気(株)、神鋼商事(株)、(株)たけびし、トラスコ中山(株)、(株)日本アクセス、パナソニックコンシューマーマーケティング(株)、日立コンシューマーマーケティング(株)、三菱電機環境システムズ(株)、(株)山善、ユアサ商事(株)、上新電機(株)、(株)ユナイテッドアローズ、(株)ルネ、(株)ワールドストアパートナーズ、(株)伊藤園、サンポー食品(株)、林兼産業(株)、山崎製パン(株)、凸版印刷(株)、科研製薬(株)、(株)モルテン、新日鐵住金(株)、(株)長府製作所、(株)北川鉄工所、ニプロ(株)、リョービ(株)、(株)SUMCO、(株)三井ハイテック、(株)GSユアサ、タカラスタンダード(株)、(株)ウエスコ、応用地質(株)、(株)エイチ・アイ・エス、JTBグループ、東武トップツアーズ(株)、(一社)日本自動車連盟、日本年金機構、北九州商工会議所、西日本高速道路サービス四国(株)、阪神高速道路(株)、エヌ・ティ・ティ・コムウェア(株)、(株)エヌ・ティ・ティ・データ九州、(株)大塚商会、(株)オービック、兼松エレクトロニクス(株)、JR四国情報システム(株)、JFEシステムズ(株)、(株)ゼンリン、富士ソフト(株)、(株)富士通マーケティング、(株)Minoriソリューションズ、安川情報システム(株)、(株)向備システムズ、日本郵便(株)、ANA福岡空港(株)、九州旅客鉄道(株)、西日本旅客鉄道(株)、JFE物流(株)、日鉄住金物流(株)、日本通運(株)、三井倉庫九州(株)、三菱ケミカル物流(株)、積水ハウス(株)、西日本高速道路(株)、前田道路(株)、三菱電機ビルテクノサービス(株)、明和地所(株)、(独)国立病院機構、(独)山口県立病院機構、(独)労働者健康安全機構、(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構、財務省(国税局)、国土交通省(中国地方整備局)、厚生労働省(広島労働局・山口労働局・労働基準監督署)、和歌山県庁、東京都墨田区役所、市役所(岡山、倉敷、山陽小野田、防府、宇和島、長崎、宮崎)、警察(山口県、岡山県、香川県、愛媛県、福岡県、鹿児島県)、消防局(高松市)、教員(福岡県) など

【発行】

下関市立大学広報委員会

山口県下関市大学町二丁目1番1号 TEL.083-252-0288

URL: <http://www.shimonoseki-cu.ac.jp/>

LINE ID: @shimonoseki.univ

Facebook: <https://www.facebook.com/ShimonosekiCityUniv/>



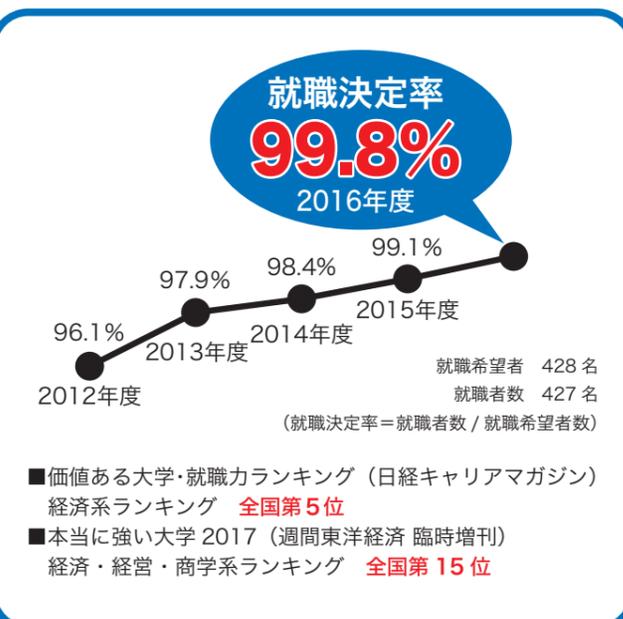
資料請求QRコード



下関市立大学は、毎年高い就職決定率を達成しています。

下関市立大学は、学生や卒業生に対する高い評価に支えられたことにより、高い就職決定率を保っています。11月中旬に開催した学内合同業界研究会には、80社を超える企業の皆様にご来学いただきました。

2016年度卒業生の就職決定率は99.8%でした。山口県だけでなく、関東や九州などの他県にも多くの学生が就職し、本学の卒業生は全国的に活躍しています。また、就職先として、銀行などの金融機関への割合が高いという特徴があります。



就職決定率が良好な理由 <学生インタビュー>

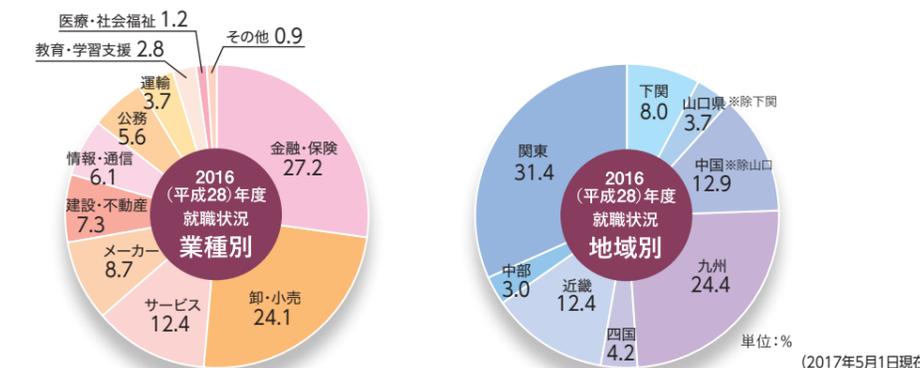
ケース① 「社会人との豊富な接点」 経済学科 佐野文郁さん

ケース② 「インターンシップから学ぶ」 国際商学科 森本菜摘さん

ケース③ 「海外でのPBL(課題解決型学習)」 公共マネジメント学科 後藤友晃さん



金融機関への就職に高い実績



下関市立大学は、4年間の体系的なキャリアプログラムのもと、学生の就業意識を高め、「キャリア」を主体的に設計することができる人材を育成します。

経済学部

経済学科

国際商学科

公共マネジメント学科

1年次

将来について考えよう

キャリア教育

キャリアデザインⅠ

キャリアを主体的に考える力を育成

2年次

今すべきことを考え行動しよう

キャリアデザインⅡ

キャリアや労働に関する知識を習得

3年次

将来を決める大事な時期

キャリアデザインⅢ

自身の強みや考え方を伝える力を育成

キャリアデザインⅣ

課題発見・解決力、論理的思考力を育成

4年次

社会人に向けてラストスパート

インターンシップ・PBL（課題解決型学習）

キャリア支援

キャリアセンターには就職・キャリアに関する専門スタッフが常駐していますので、いつでも相談に応える態勢が整っています。また、年4回の就職ガイダンス、毎週実施する就職基礎講座、就職活動を終えたばかりの4年生を囲んでの内定者懇談会、本学を卒業した社会人の生の仕事の話や聴く市大キャリアスタディ、就活直前セミナーなど数多くの就職支援行事を開催しています。キャリアセンターでは、なりたい自分に近づくための支援をしっかりと行っています。

キャリア教育による社会人との対話、そして課外活動での経験値が高度な対話力に。

【課外活動】

クラブ活動(準硬式野球部)に力をいれました。中学、高校ではレギュラーでしたが、自分と同じポジションの先輩がうま過ぎて、先輩を超えることを目標に頑張ってきました。目標にしてきた先輩が引退する時、「下からのプレッシャーが刺激となり一層自分自身を鍛えることができ、また人間的にも成長できたのは下級生のお陰です。」と話されたときは、チームとしての結束力を感じました。

【キャリア教育】

キャリアデザインⅠで様々な業種の社会人から話が聞け、早期よりキャリアについての意識が芽生えました。

【課外活動】

一部昇格を目指して組織改革を行いました。一人ひとりに役割を分担させ徹底したことで批判もありましたが、クラブを通じて人間力が培われました。また、この年に行われた「下関海響マラソン」では、一部昇格を逃した悔しい気持ちを断ち切るために初出場しました。今まで経験したことがない苦痛が幾度となくありましたが、何とかあきらめずに走りきることができました。この経験を乗り越えたことで次への自信につながりました。

学生生活は、比較的自由に使える時間があるので、多くのことに挑戦しました。

【キャリア教育】

「就活直前セミナー」で社会人との模擬面接があり、自分自身の魅力を全く語るることができないことを痛感しました。キャリア支援班の面接対策のサポートもあり、就職活動本番の面接では、自信を持って臨むことができました。また、学内で行われた「合同業界研究会」では、多くの企業を訪問し、業種を絞ることができました。

【課外活動】

大学生活にも慣れアルバイトにも力を入れました。もともと内向的な性格でしたが、接客業ということもあり社会的に会話を楽しめるようになりました。

【キャリア教育】

就職活動では数社の採用試験に臨みました。幸先よく内定が得られた企業においても、面接はどうだったか振り返ったり、本当にここで社会貢献ができるのかなど様々な角度で企業を分析しました。最終的に複数の企業から内定をいただくことができました。

【専門教育】

卒業論文では、ショッピングセンターのテナント比較について執筆します。広島県内の大手ショッピングセンターで実地及びヒアリング調査を行い、興味深いデータが得られました。

インターンシップをきっかけに「証券」の面白さに気付いた。専門知識の修得が第1志望内定へとつながった。

【課外活動】

入学直後から始めた予備校のアルバイトでは、受験生と一緒に志望校を決めたり、時には激励したりと受験生のモチベーションを高めることに喜びを感じ、「人」に興味を抱くようになりました。

【キャリア教育】

キャリアデザインⅠの授業で、卒業生やゲストスピーカーの講話を聞いて、人と接する機会が多い企業に魅力を感じるようになりました。アルバイトの経験からも感じていましたが、人に関わる業界が自分には向いているのではないかと感じ始めました。

【キャリア教育】

複数企業訪問型のインターンシップに参加しました。多種多様な業界の企業と接する中で、「証券業」の仕事の面白さに興味を持ちました。この業界は、企業の幹部社員の方々に直接会える機会が多いので非常に魅力的でした。

また、PBL(課題解決型学習)においても積極的に活動しました。ある食品メーカーの商品をシンガポール市場で認知度や売り上げを向上させるための提案でした。商品化には至りませんでしたが、試作品を作ってもらうという成果は得られました。グループでの活動でしたので、自身の役割や長所を認識することができ、協調性が育まれました。

【キャリア教育】

学内で行われた合同業界研究会では、証券業以外の業界にも目を向け情報収集しました。

【専門教育】

証券について、もっと追究したいという気持ちが強くなり、証券のゼミに入りました。ここで、全国の学生が参加する証券ゼミナール大会に向けて論文を執筆しました。優秀賞は取れませんでしたでしたが、同じゼミから出場した5つの班の中で最高得点を獲得することができました。それ以外にも、証券の外務員取得レベルの知識が学べる証券論を履修するなど最も勉強に集中しました。

【キャリア教育】

第1志望の証券業界に絞り就職活動を行いました。積極的にキャリアセンターを利用して、エントリーシートの添削や面接相談を行ってもらい、自己PRや志望動機を固めました。その甲斐もあり複数の証券企業から内定をもらうことができました。

【専門教育】

卒業論文は、3年次に執筆した論文をより詳しく書き上げています。今の貯蓄をどのようにしてより投資に向けていくのか、仮説を定義したところです。中間発表会も終え、最後の総仕上げに取りかかっています。

キャリア教育やボランティアで課題解決力を育成。次は地元貢献したい。

【課外活動】

世界の動向が気になるようになり、海外でボランティア活動に参加しました。東南アジア諸国でボランティア活動をする傍ら、色々と地域を見て回りました。そこで感じたことは、日本の報道機関から発信された情報と実際に現地で見えた情報には齟齬があることです。日本での常識が海外では非常識であったり、実際に現地に行くと現地の方々と接してみないと、その情報が真か偽か見分けることができないのではないのでしょうか。

1年生だからこそできる活動を積極的に行ったことが、結果として自身の成長につながったと思います。

【課外活動】

今度は、世界から日本にも目を向けるようになりました。「東北の復興は今どうなっているのだろうか。ボランティアの数は少なくなっているのだから。ボランティアの数だけでなく、東北の復興ボランティアに参加することにしました。現地に赴いてまず感じたことは、確かに以前の町並みのように復興は進んでいます。しかし、同時に高齢化も進んでいて、若さ溢れる活気だけが戻ってないように見えました。何とかしたいと思う気持ちが、地元山口県にも向けられるようになりました。

【キャリア教育】

シンガポールでのPBL(課題解決型学習)に参加し、ASEANで最大級の日本食の見本市「FOOD JAPAN 2016」で、下関市ブースの一員として多くの商品の売り込みに携わりました。世界に発信するブースの効果的なプロモーションの方法を見つける課題でした。チーム一丸で試行錯誤しながら行い、協調することの重要性を学ぶことができました。

【専門教育】

地域に関する分野をもっと学びたいと思うようになり、「公共マネジメント論」や「非営利組織マネジメント論」等の地域に関わる専門科目を中心に履修しました。

【キャリア教育】

3年次に、インターンシップに参加した金融機関での学びの中から、地域に関わる業界で社会貢献をしたいと思うようになりました。陰ながら地域企業の支援を行う銀行や地方公務員を中心に就職活動を始めました。特に、地元の金融機関が開催するイベントには毎回参加して、情報収集に努めました。

【専門教育】

卒業論文では、間接的には金融と関わるであろう「コンビニエンスストアのマーケティング戦略」について、昼夜図書館で執筆しています。



佐野 文郁 さん
Sano Fumiya

経済学部 経済学科 4年
三重県立津東高等学校出身
【内定先】
株式会社たけびし



森本 菜摘 さん
Morimoto Natsumi

経済学部 国際商学科 4年
岡山県立西大寺高等学校出身
【内定先】
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社



後藤 友晃 さん
Goto Tomoaki

経済学部 公共マネジメント学科 4年
山口県立岩国高等学校出身
【内定先】
株式会社山口フィナンシャルグループ